

第 2 回 奈良市文化振興補助金交付審査部会会議録

| | | | |
|--|--|----------------------------|---------------------------|
| 開催日時 | 令和 5 年 12 月 12 日（火） 午前 9 時 30 分から 12 時 00 分まで | | |
| 開催場所 | 奈良市役所 北棟 6 階 602 会議室 | | |
| 出席者 | 委員 | 萩原部会長、上田部会員、関根部会員、山下部会員 | |
| | 事務局 | 森文化振興課長、荒益課長補佐、山本総務係長、徳山 | |
| 開催形態 | 公開 <small>(一部非公開)</small> | (非公開の理由) | 奈良市情報公開条例第 29 条第 1 項第 3 号 |
| | | 非公開の具体的な理由等 | |
| | | 補助金の交付要望があった事業の審査・採点を行うため。 | |
| 議 題 | 令和 6 年度交付 奈良市文化振興補助金二次審査 | | |
| 決定事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・都市文化推進支援事業（広域参加型）について、要望があった 5 事業を審査し、5 事業すべてを交付候補事業とすることを決定した。 ・都市文化推進支援事業（国際発信型）について、要望があった 1 事業を審査し、交付候補事業とすることを決定した。 | | |
| 議事の概要 | | | |
| <p>1 令和 6 年度交付奈良市文化振興補助金 都市文化推進支援事業 二次審査について奈良市文化振興補助金交付審査要領第 4 条に基づき、採点を行った。結果は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市文化推進支援事業（広域参加型）について、要望があった 5 事業を審査し、5 事業すべてを交付候補事業とすることを決定した。 ・都市文化推進支援事業（国際発信型）について、要望があった 1 事業を審査し、交付候補事業とすることを決定した。 <p>2. 部会員からの意見</p> <p>(応募団体、事業に関する意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度以前に指摘された事項を修正していない団体が見受けられる為、質疑応答で指摘された内容をよく理解し、改善に努めてほしい。 ・「なぜ奈良で行うのか」ということに改めて立ち返り、奈良市民の税金から補助されていることを自覚し、奈良市に還元するという気持ちを持ってほしい。チラシ等にも奈良であることをもっとアピールしてほしい。同様に、奈良市民を巻き込んだ事業を開催することも重要である。 ・広報が足りておらず市民の知名度としては低いものが多いので、SNS 等を活用しより一層の広報に努めていただきたい。 ・協賛金収入の予算が非常に高い事業があった。協賛金をもう少し増やすか、経費を削減できれば補助金は必要ないと思われるので、それらの方策を考えてほしい。 | | | |

- ・今後の事業継続のために、人材育成はとても重要である。難しい課題であるが、解決に向けて行動していただきたい。
- ・事業のつながりや情報提供、アドバイス、コーディネート等を行う中間支援的な組織も重要と思われる。
- ・広域参加型に応募されるような大きな事業はどうしても外側への広がりには重きを置いてしまう。それも重要ではあるが、地域に根付く小さな文化事業と規模の垣根を越えて融合・支援したり、もっと奈良市民に向けて貢献や地域発信を強化して欲しい。

(文化振興補助金制度に関する意見)

- ・要望金額の低い事業者が広域参加型に応募していた。内容から判断すると、広域参加型でも問題はないが、この金額ならば最下位でも要望通りの金額を得られてしまうため、来年度からは事業経費の最低金額を定める等、ある程度事業規模に基づいた補助メニューを選択できるような制度設計が必要である。
- ・今年度文化事業者を対象にしたワークショップを開催し、団体同士で交流する機会を設けたところ予想以上に好評であり、事業者同士の横の広がりがみられた。各事業の発展や課題解決につながるので、このような交流会や勉強会をもっと開いていけばどうか。
- ・応募団体がほぼ固定されているので、競争が生まれず事業がマンネリ化しているように感じる。より補助金の広報に力を入れてほしい。